

事業区分

①-2 地域医療構想の達成に向けた病床の機能又は病床数の変更に関する事業

資料3 令和3年度北海道地域医療介護総合確保
基金事業(医療分)事後評価調書 P5修正後

連番	事業名	事業概要	執行額 (百万円)	事業の目標値 (アウトプット指標)	計画	実績	達成率	事業の有効性・効率性 及び評価(課題・今後の方向性)	3年目 評価
7	病床機能再編支援事業	医療機関が、地域の関係者間の合意の上、地域医療構想に即した病床機能再編の実施に伴い、減少する病床数に応じた給付金を支給する。	429	対象となる医療機関数	14	11	79%	<p>【有効性・効率性】 質が高く効率的な医療提供体制を確保するため、人口減少に伴う入院患者数の減少も踏まえて、地域の合意を得ながら地域医療構想に即した病床機能の再編等の実施につながった。</p> <p>【課題】 コロナ禍により、今後の感染症対策に備え、当初計画していた医療機関において、病床再編計画を保留するなど、予定していた病床再編に至らなかった。</p> <p>【今後の方向性】 引き続き、新型コロナへの対応に最優先で取り組む地域の状況に十分配慮しつつも、引き続き地域が置かれている状況に応じ、地域構想調整会議等における議論を着実に進めていく。 また、道が実施する地域医療構想説明会等を通じて事業の周知を図っていき、事業の活用がされるよう努める。</p>	-

(アウトカム指標)

指標	達成状況	達成状況の分析	関連事業 番号
地域医療構想に基づき2025年に必要となる病床数	必要病床数(2025年) 高度急性期:7,350 急性期:21,926 回復期:20,431 慢性期:23,483 計:73,190 R2病床機能報告 高度急性期:5,936 急性期:33,348 回復期:8,238 慢性期:24,037 休床等:104 計:71,663 ※稼働病床数	必要病床数は大まかな目安ではあるが、漸次近づいている。 また、再編統合に向けた病院間の議論や地域連携推進法人の設立が進められるなど、病床機能の集約・分化に向けた動きが具体的に進んでいる圏域(南檜山・南空知・上川北部)もみられる。	7